

2023年度

科目名称	動物行動学
授業コード	BC102
英語名称	Ethology1
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	加隈 良枝 (生命環境学部), 今野 晃嗣 (生命環境学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	動物が世界をどのように認知しているか、そしてその世界の中でどのように行動するかという問題について、進化の視点から学ぶ。この講義を通じて動物の行動と社会の成り立ちを理解し、問題点や疑問点を発見する力を養う。後半では、臨床における実務経験のある教員が、行動治療における問題行動カウンセリングの進め方と、犬と猫の問題行動の分類と学習理論等を含む修正法などについて解説する。また、哺乳動物の行動や心理状態を制御するメカニズムの基本についても言及する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	後半では、臨床における実務経験のある教員（加隈）が、行動治療における問題行動カウンセリングの進め方と、犬と猫の問題行動の分類と学習理論等を含む修正法について解説する。
到達目標	カリキュラム・ポリシーにある「人と動物の『共生』を、科学的な視点で分析・理解・表現できるようになるための基礎科目」として、以下の具体的目標を掲げる。 【科目特有の知識・技術についての到達目標】 1．動物の多様な行動と社会の成り立ちについて基礎的知識を得る。 【汎用能力としての学士力についての到達目標】 2．専門知識を獲得し、課題の問題点を発見する力を得る。
計画・内容	前半の1)～7)は今野が、8)～15)は加隈(臨床行動学専門家)が担当する。 1) 授業の概要と導入 2) 生物の多様性、種間相互作用 3) 生物進化、家畜化 4) 個体維持行動 5) 社会行動 6) 動機づけと情動 7) 学習と記憶 8) 問題行動とは何か、行動診療 9) 問題行動の修正法 行動修正法 10) 問題行動の修正法 環境修正法、薬物療法 11) 犬と猫の攻撃行動 12) 恐怖症・不安 13) 排泄に関する問題行動 14) 高齢性認知機能不全, その他の問題行動 15) まとめ
授業の進め方	講義を中心にして進める。必要に応じて映像を利用する。講義資料はWeb Class上にアップロードする。
能動的な学びの実施	実例を取り上げてディスカッションする機会を設ける。
授業時間外の学修	予習：前回までの授業の内容を見直す(60分) 復習：教科書と配布資料を中心に復習する(60分)

2023年度

教科書・参考書	<p>教科書：「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻 動物行動学 / 愛玩動物学 / 比較動物学 編著：一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会、出版：エデュワードプレス、2022年発行）」</p> <p>参考書：講義中に随時指示する。</p>
成績評価方法と基準	<p>成績評価は、授業期間中の課題や小テストおよび定期試験について、授業中でとりあげた内容や教科書記載の情報が正しく理解されているか確認することによって行う（途中課題20%、定期試験80%）。</p>
課題等に対するフィードバック	<p>小テストやアンケートを行った場合について、次回以降の授業中に、解説を行う。</p>
オフィスアワー	<p>Campus Squareを参照。</p>
留意事項	<p>愛玩動物看護師試験受験のための必須科目となります。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ zoomによるオンライン授業と課題学修、授業動画配信等によるオンデマンド授業を組み合わせ実施する。 <p>成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中課題50%と期末レポートまたはテスト50%で評価する。